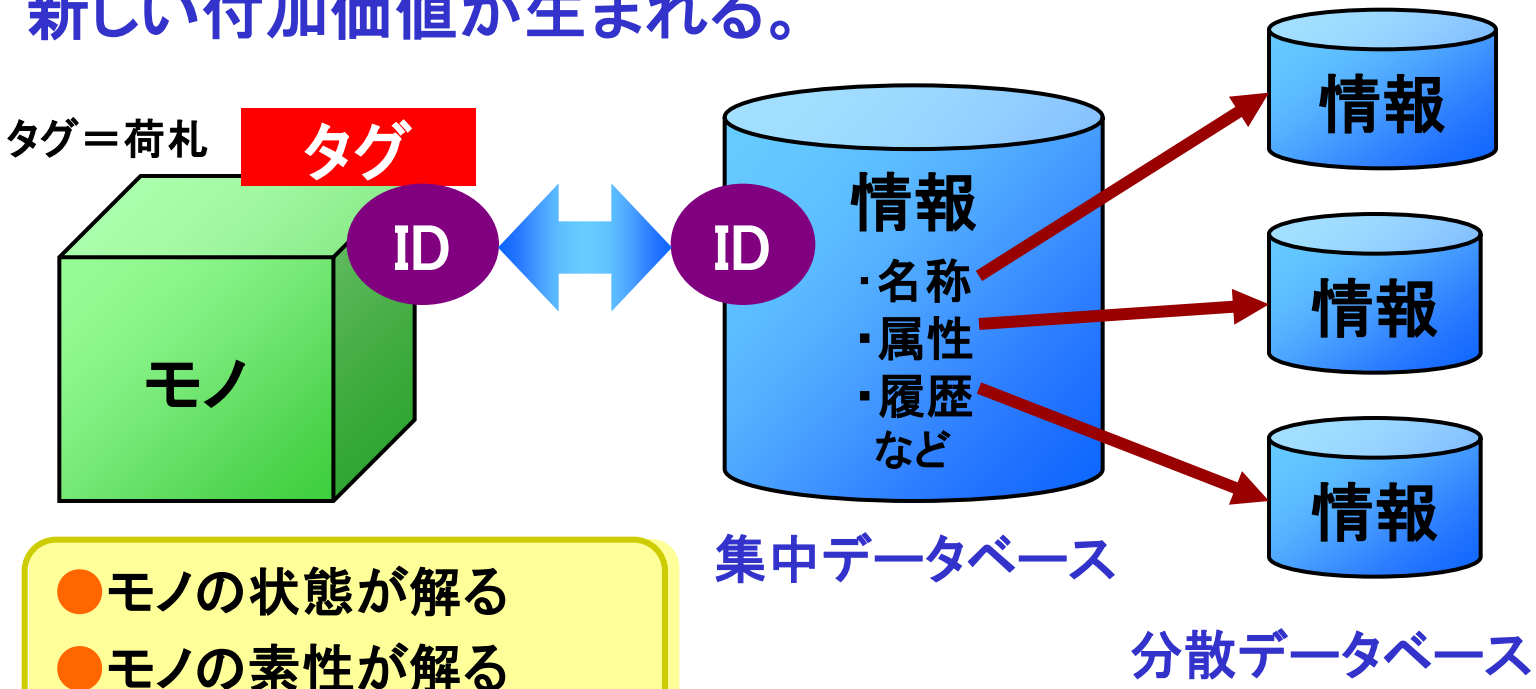
RFID導入のポイント

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

RFID（データキャリア）の特性

モノと情報、人と情報、場所と情報の紐付け

モノと情報の確実な結びつけ(紐付け)によって、
新しい付加価値が生まれる。



- モノの状態が解る
- モノの素性が解る
- モノとモノの関係が解る

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

情報品質を高める

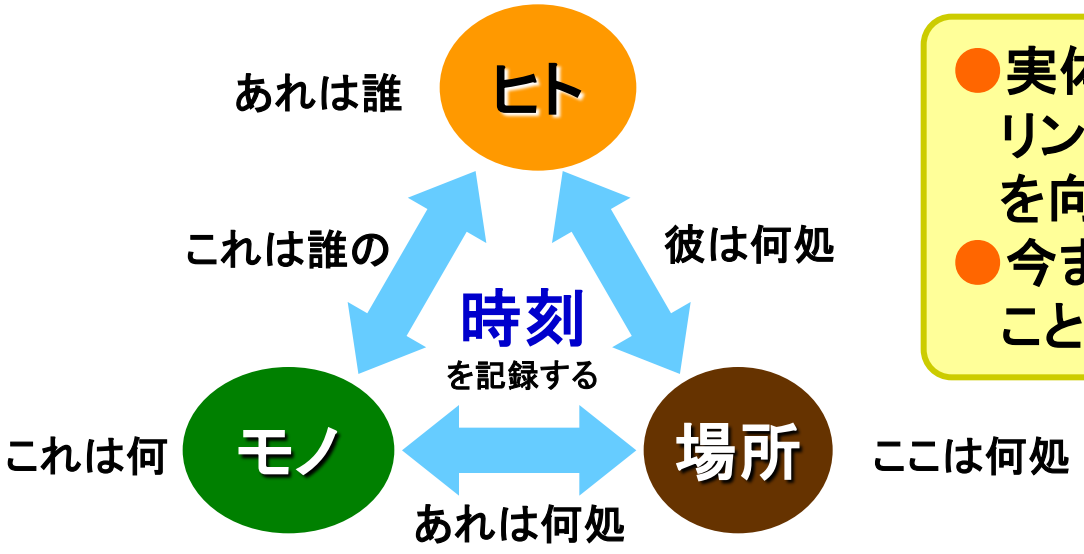
情報と実体の確実な紐付け

※現在の情報システムが対応していないのは？

“情報と実体のリンク”･･･情物一致

(実体とは；①ヒト、②モノ、③場所)

情報は管理されているが、実体との整合性はあいまいになっている(情報品質の低下がトラブルの原因)



- 実体と情報の確かなリンクにより情報品質を向上
- 今まで見えなかったことが見えてくる

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

RFIDの特徴

重要

- ●非接触性・・・離れていても読める
- ●追記性・・・・・書き換え、追記が可能
- ●耐環境性・・・汚れていても読める、電池不要
- ●多様性・・・・・様々な素材、形状で加工できる
- ●真贋性・・・・・複写、複製、偽造が困難
- ●迅速性・・・・・同時にたくさん読める
- ●透過性・・・・・電波透過物質なら中身が読める

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

本当に必要な機能を見極める

1) 「データとのつき合わせ」が原則
2) 書き込み機能は多くの場合必須要件では無い
3) 通信距離はアプリケーションに適したものを
4) 現場、現物、現状の把握が第一
5) 個人情報保護も必要
6)人体への影響への配慮を

複数種類の
RFタグの採用は
システムコスト大

業務にとって本当に必要な機能を見極め、
最適なシステムを選択すること

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

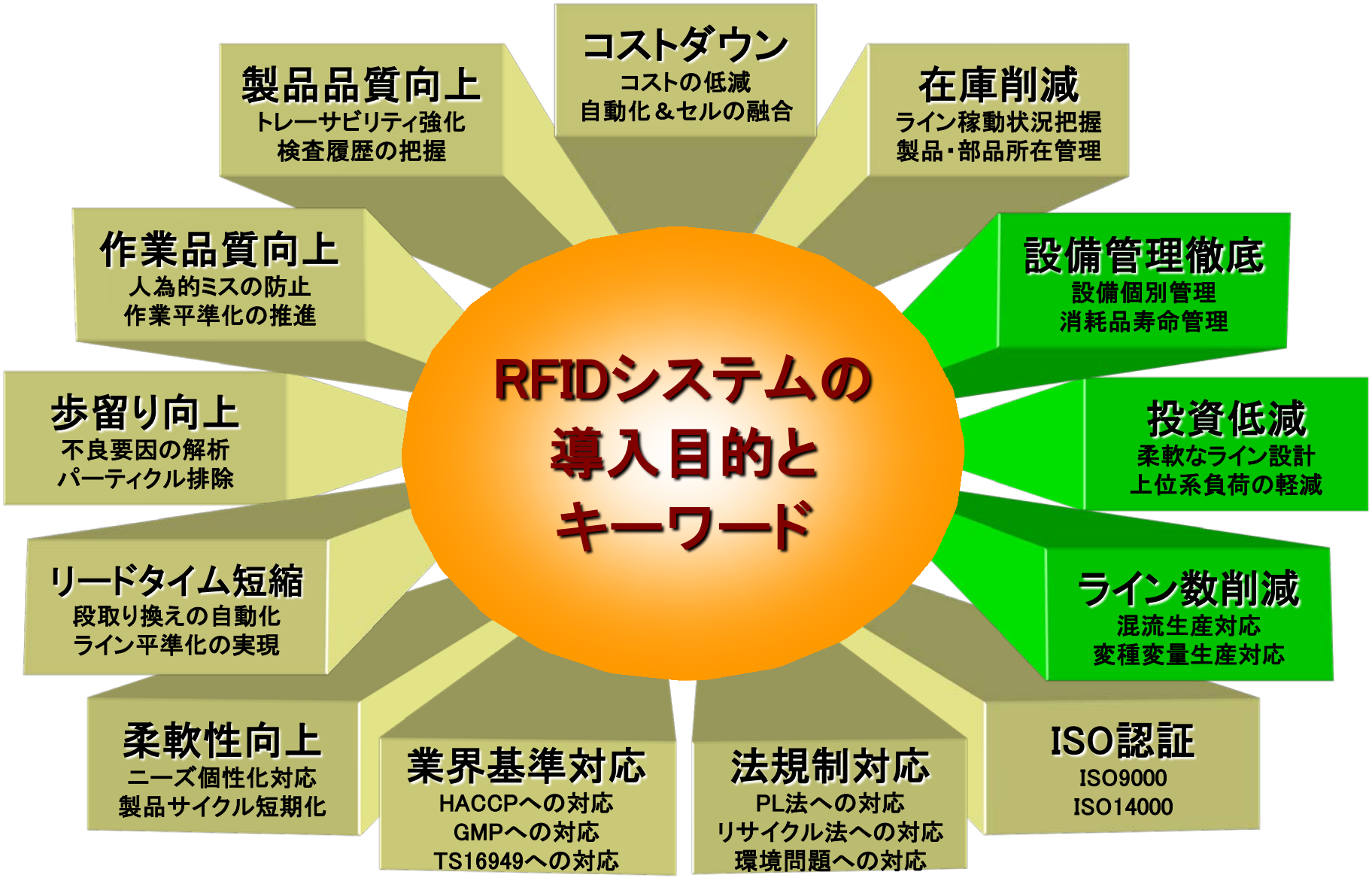
「RFIDシステム」に対する勘違い(1)

「RFID」を使うことを
決して目的にしない！

- 「RFID」は、あくまでも課題解決のための「ツール」である！
- 「課題」がみえないのに「RFIDを使うことだけ」を考えない！
- 「課題の数値化」ができなければ、改善はできない！
- 「誰の（何の）ために、RFIDを導入するか」を明らかにする！

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

「RFIDシステム」を導入する目的は？



All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

「RFIDシステム」に対する勘違い(2)

「RFID」と「各種コード」とは決して敵ではない！

- 「RFID」は情報が見えないが、「バーコードは」見える！
- 「RFID」が故障した場合は「各種コード」でリカバリー！
- 「自動化工程では「RFID」、人が関与すれば「各種コード」と共存！
- 「バーコード」で構築された「インフラ」を無駄にしない！

「RFID」は素晴らしいツールだが「万能」ではない！

- 「現場で使える性能/仕様」vs「コスト」？
- 「読み出し」と「書き込み」を同一現場で行えるか？
- 「電波」はどこに行くのか？どんな場所でも通るのか？
- 「同時一括読取り」による読み出しは、100%ではない！

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10

ご静聴ありがとうございます。

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2012-02-10